## 奈良西部病院における 喫食率の向上に関する取組

~ 行事食での取り組み



奈良西部病院 管理栄養士 艸谷則子

平成30年7月13日(金) 奈良市特定給食施設等研修会

## 病院概要

2007年 新築移転

**病床数:**一般病床数 117床

※急性期一般病棟59床、

障害者施設等一般病棟58床





#### 診療科目:

内科(消化器・循環器・呼吸器) 外科、整形外科、神経内科、 リハビリテーション科、 肛門外科、脳神経外科、皮膚科、 放射線科、麻酔科

## 病院理念

# 地域の皆様の健康生活に貢献し、信頼される病院を目指します。

#### 基本方針

- ・地域に根差した病院として幅広い医療の提供をいたします。
- ・地域医療機関と密接な連携を取り、安全で良質な医療を提供します。
- ・職種間で連携・協力し親しみあるチーム医療に努めます。

#### ~神経難病への取り組み~

当院は奈良県神経難病医療ネットワークの専門協力病院に指定されており、一般病棟と障害者病棟を備えているので、神経難病の方々の病状に応じた急性期、慢性期の対応を行っています。

## 診療技術部 栄養科

栄養管理体制 給食運営方式:全面委託

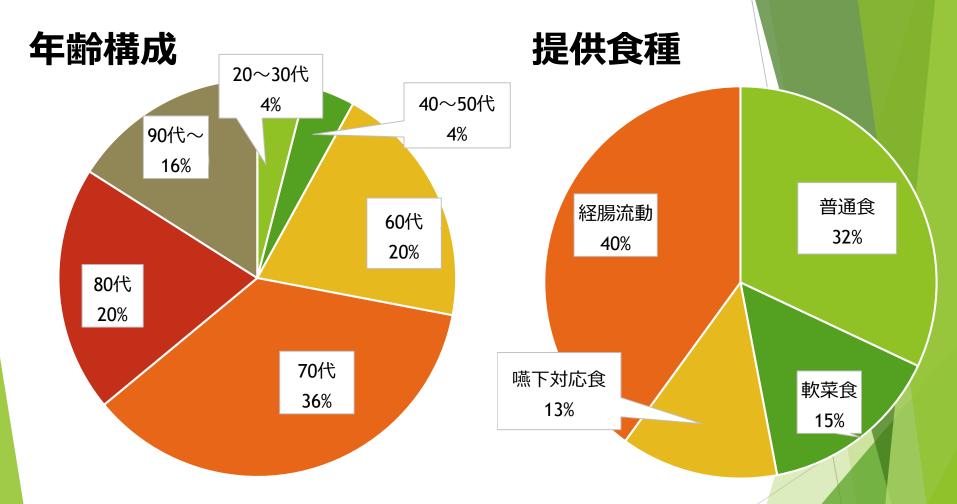
病院	管理栄養士	2名
委託	栄養士	2名
	調理師	1名
	調理補助	9名



#### 基本方針

- 安心・安全な食事である。
- 病気の治療や、体力回復を目的としている。
- 栄養指導の内容を、体験できる食事である。
- 退院後も、実践できる食事である。
- 規程の中でも、美味しい食事である。
- 入院中であっても、季節を感じられるように。

## 患者特性



#### 患者平均年齢:

- ・急性期一般病棟:80歳、
- ▶ 障害者施設等一般病棟:72歳

#### 提供食種:

- ・普通形態食32% (とろみ・一口大力ット含む)
- ・軟菜・嚥下対応食28%

## 喫食率

\* 高齢化に伴う問題が増加。

好き嫌い・体調不良・摂取量・味覚(味付け) 自力での喫食困難(咀嚼や嚥下)・精神的(認知<u>症等</u>)

### \* 行事食をきっかけに

テーマ 「月に1度の外食」

#### 基本方針

- 旬の食材を取り入れる。
- 彩りは華やかに・鮮やかに!
- 通常の食事よりも、一手間かけて。
- 器も含め、見た目からも変化を。
- 栄養科の全員が関わり、無理はしない!

## 他職種との連携

- ○病棟看護師と・・・
  - \*患者様と直接コミュニケーションを取っている立場。
  - ・栄養管理委員会で、普段の食事や行事食内容を検討。
  - ・日々の問題点は、随時相談を行い、情報を共有する。
  - ・コミュニケーションが重要。
- ○言語聴覚士と・・・
  - \* 嚥下障害など、リスクのある患者様の状況を把握。
  - ・試作や新規使用食品の選択時等、常に連絡・相談を行う。
  - ・コミュニケーションが重要。

## 委託会社との連携

- ○委託会社と・・・
  - ・パートナーである事を、お互いに認識する。
  - ・コミュニケーションを惜しまない。

#### ~行事食での取り組み内容~

- ① 献立作成:年間計画を作成。 委託側から起案 + 病院の希望
  - ・前回の反省点を踏まえ、無理のない工程で手を掛けるポイントを決定。
- ② 行事食ミーティングの開催。
  - ・委託栄養士・調理師・調理補助・病院栄養士が参加。
  - ・献立内容・調理手順や盛り付け方、病院からの想い等を説明・相談。
  - ・前回の写真やイメージ画像を作成。必要備品等も決定。
- ③ 当日、病院側も、可能な限り参加する。状況を確認。
- ④ 反省会の開催:当日に実施。
  - ・担当毎の感想や意見、次回に向けた提案等を話し合う。
- ⑤ 日々、情報共有を行う。















## 嚥下障害が有る方へ





















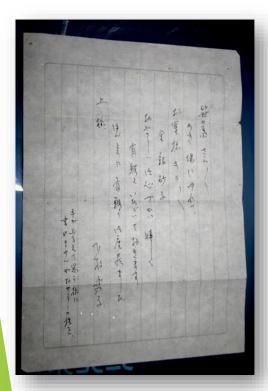




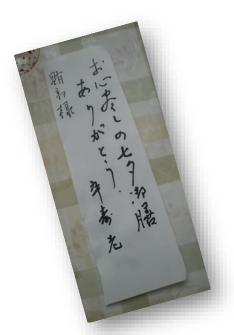


## 取り組みに対する評価

- ・患者様対象のアンケート調査:年4回の実施
- ・病院スタッフからの報告:当日・会議時等



・残食調査:当日の喫食量を確認する。



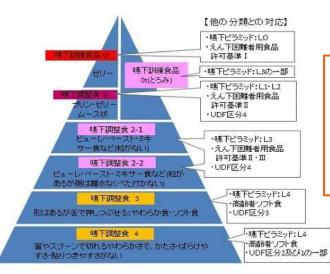
りんるいと) 管理栄養士さんに一会わせてもられ、お話してきた。メニューについているつらかきをひろいあいてもられた。ついでにデザーに果物をお願いしたらよかた(パマ)栄養、コメー、調理が法できなれていることがかいま見れた。とはいえ、古がれていることがかいま見れた。とはいえ、これが楽いかったが、頑張、てもらあり、(しか)

・患者様から直接: 配膳・下膳時に、各階のフロアや エレベーター内で声を掛けて頂く。

メッセージカードが、添えられている。等

## 栄養科の課題と今後の方向性

- □ H30年 診療報酬・介護報酬同時改定。
- □ 医療と福祉施設間の情報共有。
- 在宅や介護分野の方との関わり。
- 委託会社を含めた多職種との連携方法。



高齢化に向けて、 「集団」から「個人」へ